

53回卒、 第3回互参会を日光で開催

私達は2014年、卒後50年で全員参加型のクラス会を解散し、その後は希望者参加型の旅行中心の「互参会」を組織している。第3回互参会について報告する。

1. はじめに

- ・2017年4月19～21日、日光金谷ホテル泊一中禅寺湖金谷ホテル昼食一鬼怒川金谷ホテル泊の2泊3日、(ゴルフ参加の今市前泊の組は3泊4日)の日程で開催。
- ・全国的には足の便が良いとは言えない日光に41名(同伴者含む)が集まり、同級生の集いを楽しんだ。
- ・栃木県日本歯科大学校友会と、後輩の支援で成功裡に終わることができた。

2. 年齢に配慮が必要

- ・会員が喜寿を迎えているので、ゆとりのプランで臨んだが、現場でさらなる計画カットも必要になった。
- ・天候による集合時間の変更や、歩行距離の長さが障害になって、記念写真に二度とも全員が揃うことができなかった。
- ・幸い大事ではなかったが、思わぬ時に思わぬところで、体調不良者が出るなど予想外のこともあった。

3. 夫婦同伴が好ましかった

- ・夫婦同伴は、助け合い励まし合っでの参加で、お互いに具合の良いことが多かった。
- ・このことは、クラス会を世話する立場か

らも、進行上とても好都合であった。

- ・また同伴がいることは、ホテルやバス等の施設・設備にあっても、進行が円滑であった。

4. 高齢者クラス会の素晴らしさ

- ・同年輩、同様体験、同円熟化なので、話の内容・テンポが合い、話すも聞くも楽しかった。
- ・お互いに気遣い不要、後腐れなく、健康中心に話が飛び交う。もちろん、喫煙者は見かけず。
- ・真に今まで生きてきた人生の「花舞台」であり、皆それぞれの「舞を踊って」至福の時を過ごせた。

5. お世話を担当して

- ・参加人数の変動、参加者の体調の変動などに気を遣うことが多かったが、最大の心配は、世話する自分の健康であり、世話役と決まってからの2年間が長かった。
- ・栃木県日本歯科大学校友会、そして後輩校友の手助けが大きかった。心から感謝する。
- ・大変でも、観光業者に丸投げしないで、心をこめて設営することが大切だと思った。

以上、高齢者クラス会の例として、ご参考までに報告した。

(柿沼幸宏 記)



日光金谷ホテル玄関 強風で見切り撮影した



修理竣工の日光陽明門 ここまで歩けた人達で